

一般社団法人日本医学教育評価機構
平成28年度事業報告
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

機構の目的を達成するため、平成28年度は以下の組織体制及び事業態勢の整備を行った。

1. 世界医学教育連盟 (WFME) 認証受審への対応

平成28年5月30日付けで世界医学教育連盟 (WFME) の認証申請を行い、9月12日～16日、11月9日に調査委員3名により、当機構の組織体制、評価システム等について書面及び実地調査が行われた。

WFMEは平成29年3月27日に、JACMEを医学教育認定機関として認証したことをプレスリリースした。認証期間は平成29年3月18日より10年間である。

2. 評価基準及びマニュアル等の作成

WFMEの国際基準を踏まえて「医学教育分野別評価基準日本版」を作成した。また、評価員のためのマニュアルとして「評価員の手引き」と、評価受審校の対応について記載した「受審要項」を作成した。

3. 評価員セミナー等の開催

(1) 評価員セミナー

評価計画の推進のためには、医学教育分野別評価を十分に理解した評価員の養成が不可欠である。医学部長等から推薦された評価員候補者に対して、評価システムや評価方法等に関するワークショップ形式のセミナーとして「評価者養成ワークショップ」を開催した。

○平成28年9月30日 (金) 参加者：29人

(2) 事務担当者説明会

受審大学における事務部門の積極的なかかわりを促すため、平成29年度受審予定医学部等の事務担当者向け「医学教育分野別評価受審に関する説明会」を開催した。

○平成28年7月25日 (月) 参加者：28人

4. 公正・適切な評価システムの確立

評価するうえで重要な課題である公正・適切な評価システムを確立するため、抽出した課題に対する調査・解析を行った。また、東京都内で実施した医科大学の実地調査に陪席しデータ収集を行った。

5. 広報活動の推進

(1) 英文パンフレットの作成

外国人向け広報誌として、WFMEの査察に合わせて英語版パンフレットを作成した。

(2) ホームページの整備

機構ホームページに「医学教育分野別評価基準日本版」及び「受審要項」を掲載し、会員向けサービスの向上を図った。また、新たに英語版を開設し、機構の目的・組織体制、評価事業の概要を公開した。

6. その他の運営

(1) 会議開催

定款及び法人法の規定に基づき理事会を4回（うち1回はメール審議）、社員総会を1回開催し、重要議案を審議・決定した。

①理事会

【開催日】平成28年5月20日

【審議議案】医学教育分野別評価基準日本版の整備、平成27年度事業報告、平成27年度決算報告、常勤理事報酬規程の整備（案）、他

【開催日】平成28年10月21日～10月28日（メール審議）

【審議議案】総合評価部会部会員の選任、異議審査委員会委員の選任、諸規定の制定（案）、他

【開催日】平成28年11月21日

【審議議案】評価報告書（案）、異議申請に対する回答書（案）、認定結果通知書（案）、平成29年度及び平成30以降の評価計画（案）、規則の制定等、他

【開催日】平成29年3月27日

【審議議案】機構人事（案）、平成30年度実地調査日程（案）、平成29年度事業計画（案）、平成29年度予算書（案）、他

②定時社員総会

【開催日】平成28年6月24日

【審議議案】医学教育分野別評価基準日本版の整備、平成28年度事業計画（案）、平成28年度収支予算書（案）、平成27年度事業報告、平成27年度決算報告、他

(2) 委員会開催

評価報告書（案）等の審議や事業計画等を確実にかつ適切に推進するため、各委員会を精力的に開催した。

①総合評価部会 2回

- ②評価委員会 4回
- ③基準・要項検討委員会 2回
- ④異議審査委員会 2回
- ⑤総務・渉外委員会 1回
- ⑥財務委員会 2回
- ⑦広報委員会 1回
- ⑧調査・解析委員会 1回

(3) 会員の入会

正会員は、18大学医学部及び1団体が入会し、平成27年度入会済みの62大学医学部及び2団体と合わせ、予定していた83大学医学部・団体全てが入会した。

賛助会員は、製薬企業及び医学関係出版社8社の入会申し込みがあり、理事会において承認した。この結果、平成28年度における賛助会員は9機関となった。

(4) 事務局の整備

機構の管理運営及び事業計画支援のため事務体制の整備を行った。

(平成28年度事務局体制)

- 事務局長 1名
- 総務担当 1名
- 会計担当 1名
- 評価事業担当 2名 (うち1名は出向職員)